

新春交歓会開催レポート －お昼食付－

○ 2/9 開催チーム：23 名

日 時：令和7年2月9日（日）11:30～15:30

会 場：桜木町駅前 横浜健康福祉総合センター 8 F 大会議室「F」



○ 2/23 開催チーム：22 名

日 時：令和7年2月23日（日）11:30～15:30

会 場：2/9 チームと同所にて開催



毎年3月に開催してきた「春の交歓会」は、事業期間改正に伴いその開催日程を変更、「新春交歓会」となりました。お昼食の特製2段弁当は例年通り。グループトークも3回目に入りました。毎回高い回収率を誇る出席者アンケートは、ついに100%を達成。

参加会員方のあついご支持のもと、担当役員も力が湧いてきます。

(井上・寺田)

①あなたの年代は？

		60 歳代まで	70 歳代	80 歳代以上	合計
男性	2/09 組	10%	16%	21%	48%
	2/23 組	10%	18%	27%	55%
女性	2/09 組	0%	26%	26%	52%
	2/23 組	0%	27%	18%	45%
合計	2/09 組	10%	42%	48%	100%
	2/23 組	10%	45%	45%	100%

②PM植込みから何年？

年 数	
2 年未満	9 組 27%
	23 組 23%
2 年～ 8 年未満	9 組 21%
	23 組 23%
8 年～ 15 年未満	9 組 21%
	23 組 27%
15 年以上	9 組 27%
	23 組 27%

③電池交換はしましたか？

1 回もしていない		9 組	50%
		23 組	50%
交換している	1 回	9 組	29%
		23 組	32%
	2 回	9 組	07%
		23 組	04%
	3 回以上	9 組	14%
		23 組	14%
		100%	



④本日の感想・ご意見をお聞かせ下さい（一部ご紹介）

80 歳代男性：皆さん個別問題に熱心に取り組まれていた。私も勉強会等のPRをしたい。

80 歳代女性：少人数での会話、色々なお話しで有意義に過ごせました。個人差があること

- を強く感じました。井上支部長さんのお話は解り易く有意義に伺いました。
- 80 歳代女性：植込みまだ2 年未満。本当に良く解りました。
- 70 歳代女性：3 つのグループでの話し合いはとても良かったです。お世話になりました。昼食も美味しいお弁当でした。
- 80 歳代女性：マイクを通した声は聞きにくい。せっかくの話しの時間が無駄でした。食事もお飯が堅く食べにくかった。
- 70 歳代女性：2 グループに分けての開催でしたので、いつもお会いしている方にお会いできず残念でした。少し窮屈でも一緒に会が良かったと思いました。
- 70 歳代男性：とても勉強になります。井上さんの解説に説得力があったので、理解できたような気分になりました。
- 80 歳代女性：有意義な会で話し合いも楽しかったです。老人生活は、食欲、運動、睡眠の自立が出来ればよいとか…願うことですが、快適に過ごせば何よりと思っています。
- 90 歳代女性：PM 先輩方のお話は和やかで PM が入っているとは思えない位でした。私は手術後何かと不安を抱えておりました。支部長様の PM 症候群や心肺機能など懇切丁寧なお話しは特に参考になりました。
- 70 歳代男性：参加して良しとする。色々な方と本音で話すことが出来た。自分の意見も人々に話してみることも大事であるから。
- 70 歳代女性：申し込まれた方全員出席（欠席なし）は素晴らしいです。支部のレベルの高さを感じました。
- 70 歳代男性：有意義なひとときでした。PM のことばかりでなく、病気一般的なことまでも話し合いました。皆さま人生経験が豊かな方なので面白くお話を聞きました。
- 90 歳代女性：皆さまにお逢いするのを楽しみにしておりました。役員の皆さま、ありがとうございます。
- 70 歳代女性：各人の PM 生活のお話を伺い、共感するやら納得するやら、ひとりじゃないことを心強く思いました。ご準備ありがとうございました。
- 70 歳代女性：いつものお弁当！やはり美味しかったです。
- 80 歳代女性：思い出してまた初心にかえり、気をつけようと思いました。

横浜国立大学大学院「(学術調査) 医療機器の多面的な価値」に関するインタビュー調査にお応えして

このたび、横浜国立大学大学院教授大沼雅也先生ご依頼による、インタビュー調査に応えました。本調査は、植込み型心臓ペースメーカー患者が日常生活で抱える課題や困りごとなどを探索的に明らかにすることを目的とし、我々患者がどの様な課題を抱え、またその解決に必要な課題は何かを明らかにするものであ

ると伺っております。

具体的には、患者（若しくはその家族）4～5名。インタビュー時間は（1名ずつ個別に）60分。主な内容は、植込んでいる機械の種類と使用歴、手術後に直面した問題点や困りごと、日常生活で意識、工夫していること、理想のPM機器像等々で、たいへん丁寧なお尋ねにより、受け手である私どもも緊張感なくお応えできたと思います。

横浜国大からのご依頼ということで、地元（神奈川県）支部として対応。3月21日（金）午前10時から。会場は、勉強会や理事会等、年間を通じて利用している桜木町駅前・横浜市立健康福祉センター近く、ヒューリックみなとみらい10階の会議室サブコブ横浜。井上支部長以下（寺田、後関、袴田、久保寺の）役員5名が出向きました。調査結果とレポートは約2ヶ月後には発表されます由。

自身のみならず患者のこれからの歩み方について、研究資料の一部として、何かのお役に立つことにもなれば幸いであると考えております。

掲載写真は、インタビュー終了後、大沼先生を中央に参加者のうち3名が並びました。撮影者は、日本メドトロニック株式会社・小野さやか氏。本調査が、同社との共同研究の一環として実施されるものであることから、このたびのインタビューにも同席されました。
(2025/03/24 井上)



❖ これからの支部行事 ❖

❖ 第43回通常総会開催 ❖

日 時：①2025年5月24日（土）10:30開会

②令和7年2月23日（日）11:30開会

会 場：新横浜駅前 新横浜グレイスホテル 3F「グレイス」